

市民公開講座

三陸サケの復興
を願って

さーもん・かふえ2016

5th Salmon Café



日 時:平成 28 年 7 月 1 日(金)13:30~2 日(土)12:00

場 所:エスポワールいわて

〒020-0021 岩手県盛岡市中央通り 1-1-38

TEL: 019-623-6251, <http://www8.ocn.ne.jp/~espoir>

主催:「さーもん・かふえ」実行委員会

共催:東京大学大気海洋研究所, 岩手県

開催趣旨

「さーもん・かふえ」は「東北マリンサイエンス拠点形成事業」の一環として行われており、「東北地方の水産業の基幹産業であるサケ資源の回復と持続可能な利用並びにサケ増殖体制の確立を図ること」を目標としています。その目標と「三陸の水産が元気にならなければ、日本の水産はダメになる」という思いから、私たちの次の世代が安心してこの三陸の地に住み、生活基盤として漁業の営みを続けて行けるような社会をめざしたい。すなわち、三陸沿岸における持続可能なサケ資源と社会の構築をはかることを大きな目的としております。そのような考えから、この「さーもん・かふえ」では、三陸サケの情報ネットワークとしての役割を果たしていきたいと考えております。

- 1) これまでサケづくりで悩んできた皆さんの「問題点」を共有化し、ともに解決していく場を提供します。
- 2) サケを取りまく情報(e.g., 温暖化, 気候レジームシフト)を発信します。
- 3) サケに関する皆さんの憩いの場, 相談の「場」をめざします。

プログラム

7月1日(金)

13:30 開会挨拶

煙山 彰 (岩手県水産技術センター所長)

〈トピック・セッション〉

13:40 「岩手県におけるサケ資源動向及び水産技術センターの取組について」

太田 克彦 (岩手県水産技術センター)

14:00 「宮城県におけるサケの回帰状況 —東日本大震災の影響—」

白石 一成 (宮城県水産技術総合センター内水面水産試験場)

14:20 「最近の北海道のサケ資源動向」

宮腰 靖之 (道総研さけます内水面水産試験場)

14:40 「大槌湾での親魚・稚魚調査および今後の展開」

北川 貴士 (東京大学大気海洋研究所)

15:00

<休憩>

15:20 「三陸岩手のサケの遺伝的特徴」

塚越 英晴 (岩手大学三陸水産研究センター)

15:40 「サケの環境 DNA 研究」

荒木仁志(北海道大学農学研究院)・青山潤(東京大学大気海洋研究所)

16:00 「国際サケ市場において寡占化するサケ生産国に対する多様性」

清水 幾太郎 (水産機構北海道区水産研究所)

16:20 「サケの原虫病対策」

浦和 茂彦 (水産機構北海道区水産研究所)

16:40 「三陸サケの生残メカニズム」

帰山 雅秀(北海道大学国際本部)・秦 玉雪 (大連海洋大学)

7月2日(土)

9:00 ディスカッション「何でもハナスベー」

(コーディネイター)

太田 克彦 (岩手県水産技術センター)

青山 潤 (東京大学大気海洋研究所)

帰山 雅秀 (北海道大学国際本部)

<意見交換と話題提供>

1. 前日の講演で聞きもらったこと

2. 今春の放流を振り返って

3. 話題提供

伊藤 元祐 (東京大学大気海洋研究所)

「人間に次ぐ漁業者海鳥 -でもサケはそんなに食べられているの?-」

袁 春紅 (岩手大学)

「サケ加工利用への今後の取り組み」

峰岸有紀 (東京大学大気海洋研究所)

「eDNA による大槌湾サケ研究」

青山 潤 (東京大学大気海洋研究所)

「南限のサケ研究」

など

12:00 閉会